

特許情報開示

名古屋工業大学

開示番号	発明の名称	発明の概要	出願番号	出願日
250601	ねじれ構造を利用した有機半導体膜の製造方法	溶液プロセスで有機半導体膜を作製するテクノロジー。ねじれ構造をもつパイ共役系分子を塗布したのち、平面構造へ変換して半導体層を形成する。熱変換型のため、ロール・ツー・ロール方式への応用が期待される。	特願2013-086348	H25.4.17
250602	リチウムイオン二次電池用正極材量の製造方法	基板上に電解法により前駆体として酸化膜を形成し、リチウムイオンを含む水溶液を滴下して加熱、あるいは水熱反応によりリチウムイオン二次電池用正極膜を合成する低コストの製法を提供する。LiM ₂ O ₄ 正極膜では300Cでの充放電レートにおいて75%以上の容量を維持し、800サイクル後でも80%以上の容量維持率の優れた特性を示した。さらに、三次元構造を持つ基板上に100 nm以下の粒径を有するLiCOO ₂ の微粒子を製膜することができ、得られた正極膜は平面基板上に作製した膜の約7倍の高容量を示した。	2013-098938	H25.5.9
250603	ペンタフルオロフェニル化に有用なヨードニウム化合物とその製造法、及び α -ペンタフルオロフェニルケトン誘導体とその製造法	発明者らは、以前に報告例のない、ペンタフルオロフェニル化に有用なヨードニウム化合物を開発し、ケトン類の α 炭素に対するペンタフルオロフェニル基の直接的導入に成功した。	特願2013-101853	H25.5.14